

【①令和2年第4回定例会都市整備委員長報告】

市電の女性優先車両については、運行自体を否定するものではないが、本格導入については、試験運行を来年3月まで延長し、利用者の意向データの更なる収集等、十分な調査・検討を行うこと。

【②試験導入の変更点】

■試験期間

開始日：令和2年（2020年）9月14日（月）

終了日：令和3年（2021年）3月31日（水） → 12月末から3か月延長

■名 称 女性優先車両 ⇒ 利用者からの意見を踏まえ、1月から変更

【③前回と今回の利用者アンケート概要の比較】

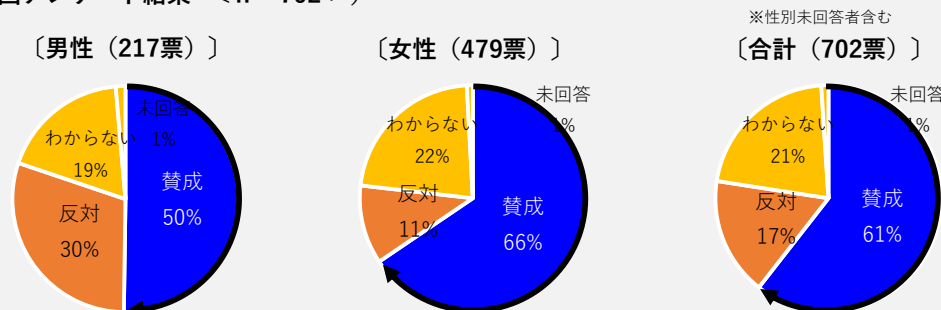
内 容	第1回（前回）	第2回（今回）
アンケート用紙	紙に直接記述するタイプ	<u>ビンゴ型アンケート用紙で直接記述なし。</u>
配布方法	電停で利用者に直接配布	前回と同じ
回答方法	・後日郵送 ・降車時に乗務員へ手渡し	・降車時に乗務員へ手渡し。
配 布 日	11月4日（水）、9日（月）	2月1日（月）、2日（火）
配布時間	午前7時30分～9時 午後1時30分～3時30分	午前7時30分～9時
配布電停	利用者が多い13電停	全35電停
配布枚数	3,000枚	2,589枚
回 答 数	702枚（回答率：約23%）	1,852枚（回答率：約72%）

【④利用者アンケートの結果】 ※詳細は利用者アンケート結果概要を参照

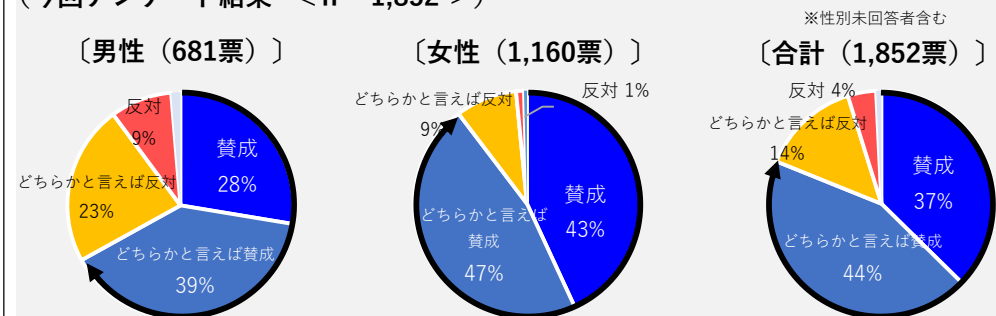
- 女性優先車両について「賛成」「どちらかと言えば賛成」と回答した人は、男性の67%（前回50%）、女性の90%（前回66%）であった。
- 一方、男性の32%（前回30%）、女性の10%（前回11%）は、「反対」、「どちらかと言えば反対」と回答しており、その理由として「他の車両が混雑する」と回答した人が47%（前回33%）と一番多かった。

【女性優先車両に賛成ですか、反対ですか。】

（前回アンケート結果 < n = 702 >）



（今回アンケート結果 < n = 1,852 >）



- 選択肢から「わからない」を外したことで、「賛成」、「どちらかと言えば賛成」を合計した割合が男女ともに増加。

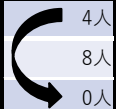
女性優先車両の試験導入について(交通局)

【⑤女性専用車両とそれ以外の車両の混雑状況の変化】

- 女性優先車両の1両目と2両目の混雑率の不均衡については、導入前と導入後では、ほとんど差異はなく、むしろ女性優先車両を導入することで1両目と2両目の混雑差が解消し、均衡してきた車両が8便中5便あった。

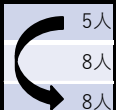
【導入前後の1両目と2両目の乗車人数比較（8便中4便を抽出して比較）】

〈新水前寺駅前上り 7時36分発〉

新水前寺駅前 上り 7時36分発車時	1両目 (一般車両)①	2両目 (女性専用)②	乗車人数差 ①-②	
9月10日（導入前）	34人	30人	4人	
11月12日（2カ月後）	37人	29人	8人	
1月14日（4カ月後）	20人	20人	0人	

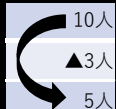
1両目と2両目の混雑差は時間が経過するにつれて導入前より均衡してきた。

〈新水前寺駅前上り 7時57分発〉

新水前寺駅前 上り 7時57分発車時	1両目 (一般車両)①	2両目 (女性専用)②	乗車人数差 ①-②	
9月10日（導入前）	36人	31人	5人	
11月12日（2カ月後）	50人	42人	8人	
1月14日（4カ月後）	40人	32人	8人	

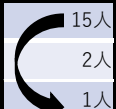
1両目と2両目の混雑差にあまり変化はなかった。

〈新水前寺駅前上り 8時26分発〉

新水前寺駅前 上り 8時26分発車時	1両目 (一般車両)①	2両目 (女性専用)②	乗車人数差 ①-②	
9月10日（導入前）	31人	21人	10人	
11月12日（2カ月後）	43人	46人	▲3人	
1月14日（4カ月後）	24人	19人	5人	

1両目と2両目の混雑差は時間が経過するにつれて導入前より均衡してきた。

〈熊本駅前下り 8時3分発〉

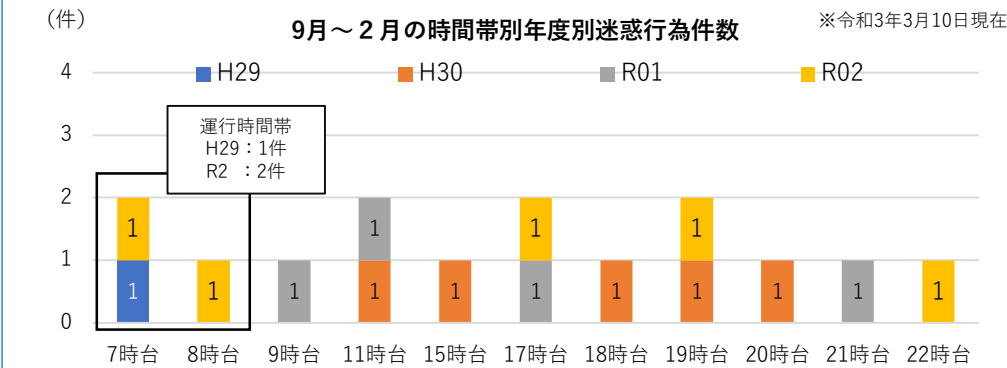
熊本駅前 下り 8時3分発車時	1両目 (一般車両)①	2両目 (女性専用)②	乗車人数差 ①-②	
9月10日（導入前）	33人	18人	15人	
11月12日（2カ月後）	26人	24人	2人	
12月10日（3カ月後）	24人	23人	1人	

1両目と2両目の混雑差は時間が経過するにつれて導入前より均衡してきた。

※1月14日は定期検査により欠車したため、3か月後で比較。

【⑥市電における迷惑行為件数の比較】

- 女性優先車両で迷惑行為は発生していないが、女性優先車両が運行している時間帯で2件発生した。



【参考：迷惑行為件数の内訳】

年度	痴漢	盗撮	強制わいせつ	迷惑行為	合計
H30	7	1	0	1	9
R1	4	2	1	0	7
R2	4	5	0	2	11

【⑦利用者意見を踏まえ、新たに実施した対策】

- 前回アンケートで、車内放送等による防犯啓発や車内カメラの設置についての要望が多かったことから、次の取り組みを実施。
- カメラ搭載車であることを強く認識していただけるよう、わかりやすい表示でステッカーを貼付。
 - 車内放送を活用し、迷惑行為防止のためにカメラを設置している事をアナウンス。

車内ステッカー貼付



女性優先車両の試験導入について(交通局)

導入結果

- 女性優先車両で迷惑行為は発生していないが、女性優先車両が運行している時間帯で2件発生した。
- 2回実施したアンケート両方で、男女ともに賛成が過半数を超えており、2月に実施した直近のアンケートでは、男性の67%（前回50%）、女性の90%（前回66%）が「賛成」、「どちらかと言えば賛成」と回答。
- 一方、男性の32%（前回30%）、女性の10%（前回11%）は、「反対」、「どちらかと言えば反対」と回答しており、その理由として「他の車両が混雑する」と回答した人が47%（前回33%）と一番多かったが、女性優先車両の1両目と2両目の混雑率の不均衡については、導入前と導入後でほとんど差異がなかった。
- 前回アンケートで女性の67%、男性の47%が女性優先車両があることで安心して市電を利用できると回答。

その他

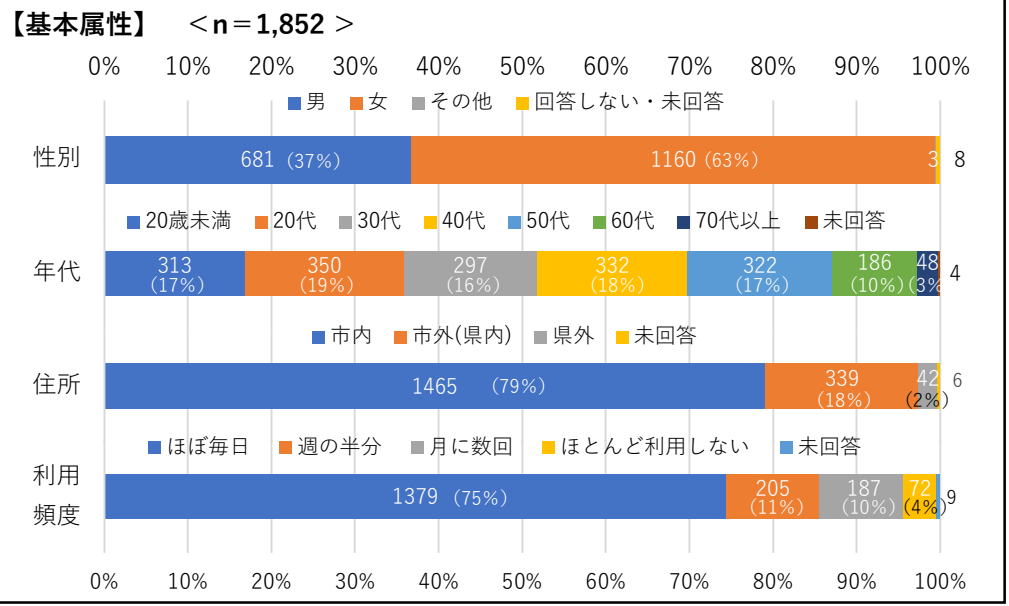
- 女性優先車両導入により運行が遅延したり、利用者同士のトラブルになるような安全面での問題は発生しなかった。
- 前回報告以降、電話やメール等で新たに16件の意見をいただいたが、全体の44%（前回85%）が反対意見で、反対理由は、「他の車両が混雑する」、「そもそも迷惑行為防止にならない。」などの意見であった。

今後の取り組み

- これまでの利用者アンケート結果を踏まえ、**令和3年4月から女性優先車両を本格導入する。**
- また、迷惑行為は運行している全ての時間帯で発生していることから、引き続き車内放送等を活用するなど積極的に防犯啓発に取り組む。
- 今後は、新たに多両編成車両導入に合わせて女性優先車両を増車することを検討する。

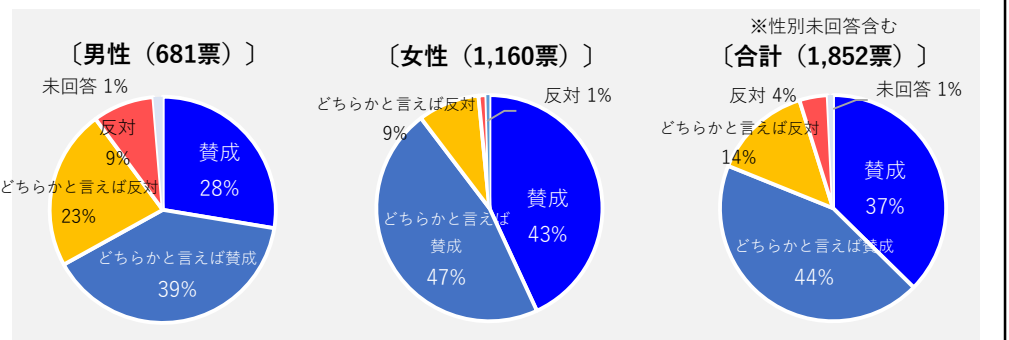
(参考資料) 第2回 利用者アンケート結果概要(交通局)

- ・ 調査期間：令和3年（2021年）2月1日～2月8日
- ・ 方 法：ビンゴ型アンケート用紙を配布し、降車時に乗務員へ手渡しして回答
- ・ 対 象 者：朝7時～9時の間に利用している市電利用者
- ・ 配布場所：全電停（35電停）
- ・ 有効回答：1,852件（2,589枚のアンケート用紙を配布。回答率71.5%）



【① 女性優先車両に賛成か反対か。】 <n=1,852>

区分	男		女		合計※性別未回答含む	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
賛成	188	28%	500	43%	692	37%
どちらかと言えば賛成	268	39%	540	47%	810	44%
どちらかと言えば反対	156	23%	102	9%	261	14%
反対	60	9%	13	1%	75	4%
合計※未回答含む	681	100%	1,160	100%	1,852	100%

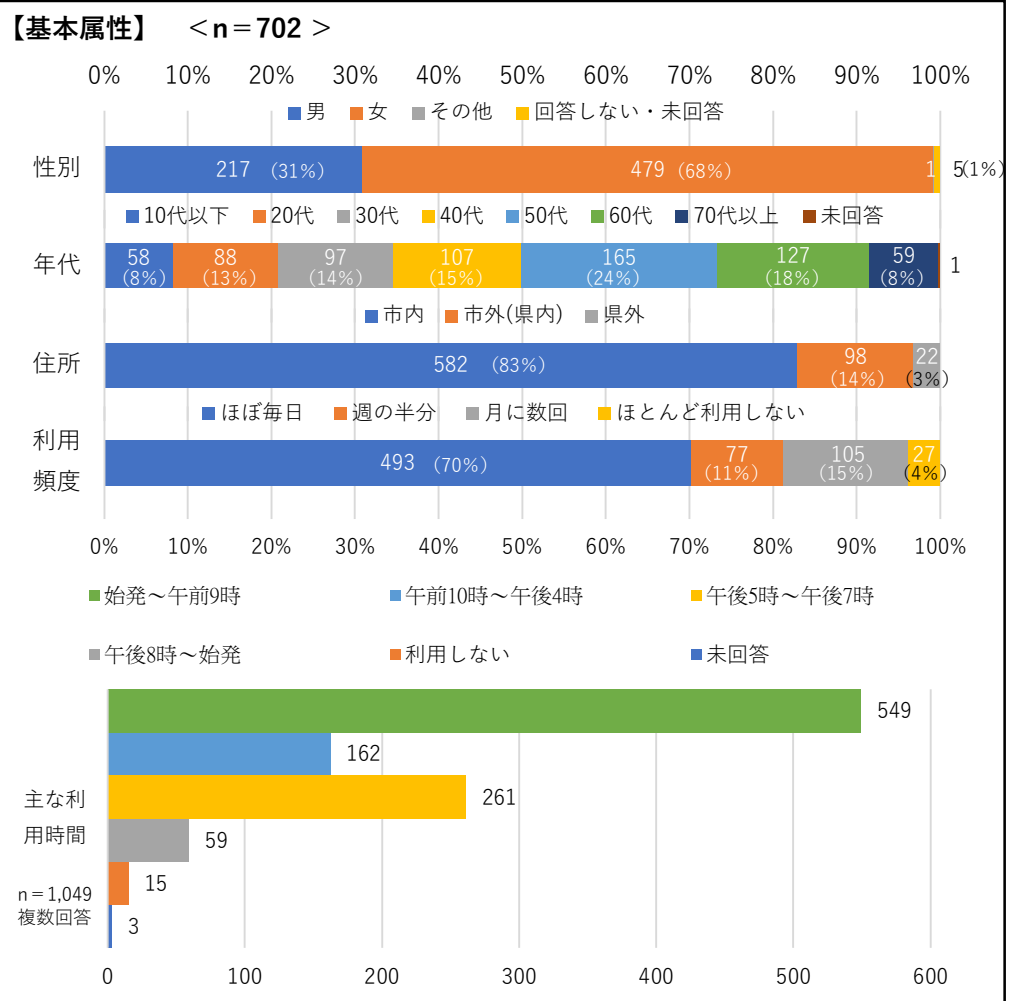


【①-1 女性優先車両に反対の主な理由。複数回答有り】 <n=509>

反対する理由	件数	割合
一般車両が混雑する。	237	47%
男女差別となる。	80	16%
女性が一般車両に乗りづらくなる。	70	14%
迷惑行為の防止にならない	61	12%
LGBTへの配慮が足りない。	49	10%
男性専用車両も設置するべき。	2	0%

(参考資料) 第1回利用者アンケート結果概要(交通局)

- ・調査期間：令和2年（2020年）11月4日～11月24日
- ・方 法：紙のアンケート用紙を配布し、後日郵送又は乗務員へ手渡しして回答
- ・配布場所：利用者が多い13電停
- ・対 象 者：朝7時～9時の間に利用している市電利用者
- ・有効回答：**702件**（3,000枚のアンケート用紙を配布。**回答率23.4%**）



【① 女性専用車両に賛成か反対か。】 <n = 702 >

区分	男		女		合計 ※性別未回答含む	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
賛成	109	50%	315	66%	425	61%
反対	65	30%	54	11%	121	17%
わからない	40	19%	106	22%	149	21%
未回答	3	1%	4	1%	7	1%
合計	217	100%	479	100%	702	100%

〔男性（217票）〕

〔女性（479票）〕

〔合計（702票）〕

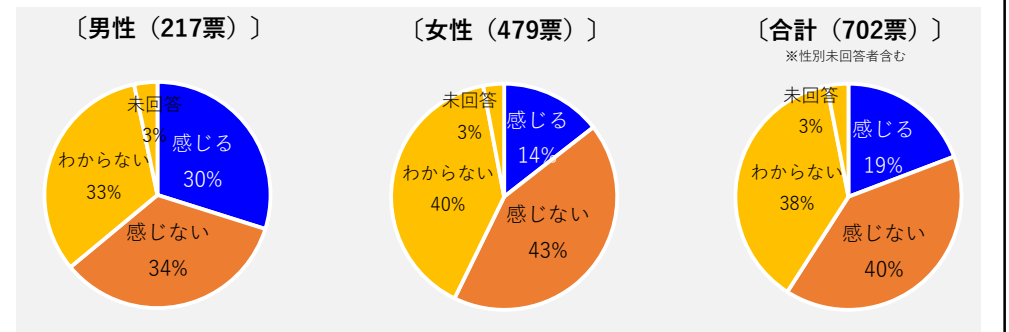
【①-1 女性専用車両に反対の理由。複数回答有り】 <n = 229 >

反対する理由	件数	割合
一般車両が混雑する。	75	33%
男女差別となる。	40	17%
迷惑行為の防止にならない	35	15%
女性が一般車両に乗りづらくなる。	34	15%
LGBTへの配慮が足りない。	19	8%
必要性を感じない。	6	3%

(参考資料) 第1回利用者アンケート結果概要(交通局)

【② 女性専用車両の導入で、他の車両が混雑するようになったと感じるか。】<n = 702>

区分	男		女		合計 ※性別未回答含む	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
感じる	65	30%	68	14%	134	19%
感じない	74	34%	205	43%	280	40%
わからない	71	33%	192	40%	267	38%
未回答	7	3%	14	3%	21	3%
合計	217	100%	479	100%	702	100%

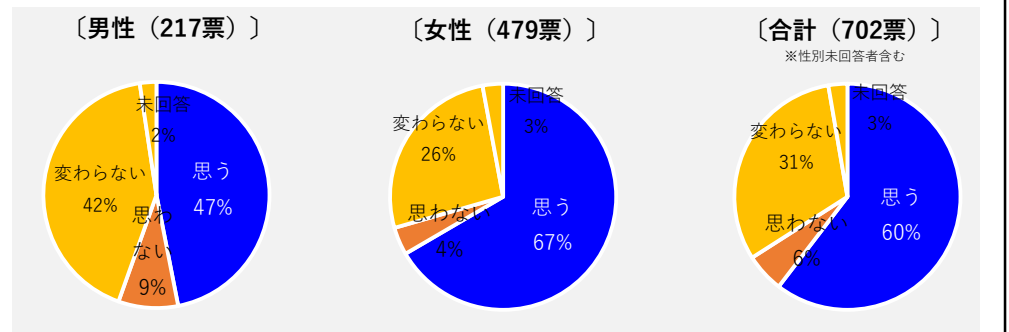


【②-1 混雑すると感じると答えた人のうちそれについてどう思うか。】<n = 134>

区分	男		女		合計 ※性別未回答含む	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
やむを得ない	25	38%	42	56%	68	51%
好ましくない	40	62%	26	44%	66	49%
合計	65	100%	68	100%	134	100%

【③ 女性専用車両を導入することで安心して利用できると感じますか。】<n = 702>

区分	男		女		合計 ※性別未回答含む	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
思う	103	47%	319	67%	424	60%
思わない	19	9%	19	4%	39	6%
変わらない	90	42%	127	26%	220	31%
未回答	5	2%	14	3%	19	3%
合計	217	100%	479	100%	702	100%



【④ 女性専用車両に対するその他意見（自由記述）。複数回答有り】<n = 144>

ご意見内容	件数	割合
好意的な意見（安心できる、導入に賛成、とても良い取組み 等）	29	20%
女性専用車両の運行本数を増やしてほしい関連意見	19	13%
女性専用車両に男性が乗車した際の対策要望関連意見	16	11%
女性専用車両の運行時間帯を拡充してほしい関連意見	15	10%
男性専用車両も導入してほしい関連意見。	10	7%